

公立中高一貫校
レポート #02

横浜市立南高等学校 附属中学校

[神奈川県横浜市]

地域に愛され、世界に目を開く。 横浜らしさ満載の公立一貫校

今年3月末、横浜市立初の中高一貫教育校として2012年に開校した南高校附属中学校1期生の大学進学実績が発表され、東京大学にも5人合格を果たすなど、難関大へ多数の合格者を出したことが判明した。短期でこのような上昇カーブを描いたのにも、明確な理由があった…

取材・文/鈴木隆祐 写真/松沢雅彦
デザイン/タケウチフミヒロ (landfish)

英語から考えた総合教育のあり方

横浜市立南高等学校並びに附属中学校は、横浜郊外でも大きな町の上大岡から近く、実に広大な高地を有している。校門を抜けるとゆったりとしたスロープがあり、目に飛び込む校舎もまた大きい。高校校舎がバブル期に建て替えられ、すべて

その中でまかなうのだが、端々に当時の余裕が感じられる。校内に入ると廊下も広く、オープンスペースも充分ある。その設置も公立校では先駆ではないか。

横浜市立としては初めて、併設型の中高一貫教育校として2012年4月に開校した同校。開校当初、ハイレベルで知名度も高い私立の中高一貫校が県内に多数ある中、公立で一定の教育効果を出せるか疑問視する声も上がり、また、元来の南高校OBらが校名変更にも難色を示すなど、前途が危ぶまれてもしたが、高い合格実績を挙げ、同校への注目は一層高まっている。中高6年間の安定した環境の中、豊かな人間性を養い、高い学力が身につけられるのがなよりの強み。そのため多様な教育を進めるが、柱となるのは総合的な学習の

基本データ

沿革
1954年: 3月 横浜市立吉田中学校内に横浜市立港高等学校(全日制)として創立。
同年: 3月 横浜市立南高等学校と改称。
1960年: 現在の所在地に校舎が完成。
1963年: 中学区制施行。緑ヶ丘、金沢、立野の各校と共に横浜南部学区に属す(81年の学区改編後も同様)。
1991年: 新校舎完成。
2003年: 創立50周年。単位制導入、学区が横浜市全域に変更。
2007年: 横浜市教育委員会から「授業力向上研究校」に指定。
2012年: 附属中学校開校。高校も横浜市教育委員会から「進学指導重点校」に指定される。

校長 磯部修一

所在地 神奈川県横浜市港南区東永谷二丁目1番1号

交通 市営地下鉄・京浜急行線上大岡駅下車徒歩18分 / 京急バス南高校行 南高校前下車徒歩1分 神奈中バス南高校・芹が谷循環または東戸塚駅東口行南高校前下車 市営地下鉄線 上永谷駅下車徒歩15分

出身者 高橋ゲタ夫(ジャズベーシスト)、カサハラテツロー(漫画家)、荻部俊二(アトランタ、シドニー五輪陸上)…etc.

時間、通称“EGG”。つまりは英語の以下3語の頭文字を取って、立てられたコンセプトだ。
「Explore さがす (学びの追究、課題さがし)」

英語の梶ヶ谷朋恵主幹教諭
磯部修一中学校長



クラスを半分に分けた中1の英語では、生徒の顔が朗らかに上を向いている。コミュニカティブな雰囲気醸成されている証拠だ。

南高附属中 志願状況 2018

募集定員 (A)	志願者数 (B)	競争率 (A) / (B)
160	855	5.34
内数	男	352
	女	503

附属中は1学年4学級160人定員、高校は1学年5学級200人定員。つまり高校から入る高入生は1クラス分のみ。附属中から南高校へ進学する際も入学者選抜は行わない。

「Grasp つかむ (自己の可能性の発見、他者との学びによる確かな理解)」

「Grow のびる (継続的な人間性の成長)」

そして、その3本柱として、EGG体験、EGGゼミ、EGG講座が設けられている。3年の間、週2回70時間ずつ受けるこの授業で、豊かな人間性の基礎であるコミュニケーション力を養成し、自分の力で将来を切り拓く意欲や思考力・表現力などを育てるのだ。

そして、中学卒業時には、この3年間のEGGで身につけた力の集大成として、「卒業レポート」

生徒から潑刺とした表情を引き出す、英語のエアスペリング

に取り組む。一貫校だが、中高の区切りを卒論でつけるわけだ。テーマは個人の興味や関心に沿って、人文科学 自然科学 社会科学と多岐にわたる。

同中学の磯部修一校長も一期生の結果を鑑み、EGG 効果の高さを認める。

「単に授業で知識を得るのみではなく、EGG を通じて問題解決力や相手に発信する力を身につけることで、通常の授業自体が楽しくなり、学習意欲も高まるという好循環が生まれています。むしろ、普段の授業にも EGG を基盤に考えて構築されているから、様々な面でそのフィードバックは

南高附属中「EGG」のコンセプト



3つのエッグが「豊かな心」「高い学力」を育成し、自分の力で将来を切り拓く力を育てる

Explore・Grasp・Growの積み重ねで、可能性の卵が確実に孵化する。このコンセプトは全国の注目の的ともなっている。

あると思います。

EGG での学びは高校での3年間の総合的な学習の時間、「TRY & ACT」につながっています」

独自性獲得のためリサーチを重ね

EGG に開設準備委員として学校創立の前から携わってきた、英語科の梶ヶ谷朋恵主幹教諭は教員生活も四半世紀を超えるベテラン。現在は鎌倉女子大学児童学部こども心理学科教授と、初等部(小学校)部長(校長)を兼務する高橋正尚初代校長とともに、南高附属中のコンセプトデザインを手がけた—と言っても過言ではない。

「スタート時から授業力にはこだわっていたので、一般的な転勤もありましたが、我が校のために集まった教員は多かったですね。高橋元校長の

地域に愛されてきた公立校——というスタンスを変えず TRY & ACT!



上 ともかく全体にゆったりしていて、この校地の広さに惹かれ、入学を検討する児童も多そうだ。中庭も学校を象徴する木から名を取ってくるの木広場と呼ばれる。校内に野球場があるのも珍しい。
下 各フロアの廊下は広々として、空間取りにも余裕がある。美術での生徒の作品が飾られる展示場も備えていた。また、エントランスには高校生が残した、見事な書も飾られている。



方針で初任の教員の採用も多めでした。

学校の柱を探して県内だけでなく、東京にも出かけ、公立私立たくさんの学校の視察をしました。それこそいいとこ取りじゃないですが、遠足や修学旅行などの行事も、一からどうするか考えるわけですしね。初めての一貫校ですから「売り」になる部分も必要。それに元々の南高の魅力もある。

そもそも、『生徒の人間性がいい』と地域に愛

されてきた学校なんです。それだけ地域に支えられてもいる。かつて同じ学区で偏差値的には上位の県立横浜緑ヶ丘高校より、校風に惹かれたと入ってくる生徒もいたそうです。授業・部活・委員会…どれかに偏るのではなく、全部やるというタイプの生徒が元から多かった。そんないいところを変えない—という方針は立てました。私もかつて市立中の教諭として進路指導をし、生徒を送り込んでいた立場なのでよくわかるんです」

1954年、定時制のみの横浜市立港高校に横浜商業高校普通科が移管され、すぐ校名変更により南高校となった。そして、60年には現在地に移転。PTA 会員と南区民とが「南高校建設後援会」を発足させ、建設資金の準備から土地購入の手続きまでして実現させ、費用の約6割がそうした市民活動によってまかなわれたという。いわば、市民高校が南高。だから、当初は中等教育学校とする予定だったのを中学を併設とするよう計画も変更された。

その高校も12年度より進学指導重点校指定を受け、15年度からは文部科学省からのSGH(スーパーグローバルハイスクール)にも指定され、組織変更へ懐疑的だった卒業生も納得の評価を得ている。

「私たちでもビックリするほど偏差値が上がっています。元々はそんな大らかな学校なんです。そして今、一般の中学ではリーダーとなるにも、

中3国語ではキャッチコピー作成がテーマ。個人で書いたコピーをペアで吟味し、グループでディスカッションの上で、再び持ち帰ってブラッシュアップをして提出する。



学び合いに打ってつけの中3国語のコピー制作

そうは行かない、立ち位置がわからないといった生徒でも、自分の居場所で力を発揮できます。

『教室は間違ところ』だって、いつも生徒に言うんですね。校内のあちこちにも貼ってある。そうやってお互いどんどん伸びようというのが、もはや風土になっています」

卒論に中学生の問題意識が光り輝く

間違いを素直に認め、さらに成長しようとするのが真の国際人だが、日本人はプライドが高い人ほど、とかく「間違いが怖くてしようがない」のだと梶ヶ谷主幹教諭は指摘する。南高附属中の生徒にはそうあってはならないと呼びかける。

「EGGゼミも中3で卒論に漕ぎ着けますが、1・2年のうちはわりときっちりスキルを身につけさせる。ネットで調べた情報を整理するだけでなく、自分の頭でもとかく考えさせます。周辺取材なども必要ですから、極端な話、友達作りから学校で教えてあげる。

EGG 体験のゴールも3年でのカナダ研修旅行。そのためにコミュニケーション力を上げる数々のイベントを組んでいます。3年間で必修講座は6つ。選択講座も1・2年では多めで3~4回はあります。それも『世界を幸せにするためになにができるか』が通底したテーマ。中学生でできることは限られていますが、その第一歩を意識させたい。卒論で音楽を取り上げると一口に言っても、曲作りをする生徒も、音楽療法について調べてまとめる生徒もいます。

1年ではクラスのテーマを決めたら、後半にはグループワークをし、個々のテーマも定め、各グループでポスター発表もする。とまあ『実際に行動しよう』がモットーですね。そうやって創設時に必ず入れてくれと、今は3本の柱に整理されたのがEGGなんです。

また、そればかりにならないようにしていますが、EGGは授業で学んだ英語を活かす場でもあると思います」

南高附属中は現在注目を集めている、英語の5ラウンド制を開校時から先駆的に導入したことで

も知られる。これは1年間の授業を通じ、1冊のテキストを5回、切り口を変えて繰り返し学習することで、総合的な英語力の向上を目指す取り組みだ。5回繰り返すまでに至らずとも、埼玉県熊谷市の公立中などでも、教科書を複数回繰り返す「ラウンド制」を採用している。横浜市教育委員会は昨年度、全面的なラウンド制導入に向け、「英語教育協力研究校」として市内中学校を2校募り、教育効果などの研究を開始。また、市立中川西中学校（都筑区）ではすでに昨春から導入を決めた。

英語5ラウンド制が如実に効果を...

これが具体的にどのようなやり方かといえば、南高附属中の場合、以下のような手順を踏む。

1年生では1巡目に、約2ヶ月かけて文章に関連する絵を見ながらテキスト全文のリスニングだけを実施。2巡目では約1ヶ月かけて、聞いた音から単語や短文をバラバラにし、正しい文に並べ替える作業を実施。3巡目では約1ヶ月半かけて音読を実施し、4巡目では約2ヶ月かけて、一部が穴開きになった本文を音読できるかどうか確認。5巡目では、会話形式の本文のやり取りを参考に、自らの言葉で説明しながら友達に伝えるリテリング作業を行い、1年の授業が終了となる。

なお、50分の授業のうち、前半15分でこれまでの内容のスピーチやディスカッションなどアウトプット作業に当て、後半35分で新たなインプット作業を行うのも徹底している。梶ヶ谷主幹教諭も「こうしたトレーニング形の授業の結果、けっこう喋れる生徒も出てきている」と胸を張る。「コミュニケーションがそもそも得意でない生徒も、他校でもよく聞かされた話ですが、中学受験で『燃え尽き症候群』となった生徒もいる。そんなそもそもマイナススタートという生徒も入ってくるだろうと予測し、また、似た者同士がいっぱいいる学校で、違う子を排除しがちではないかとも思い、EGGを体現する授業を英語でもできな



中3社会でプロジェクターに映し出されるのは「国家総動員法」で供出を義務づけられた物資の 카테고리一覧。それが具体的にどんなものだったかを、自由に生徒に挙げさせ、戦争が国民に夥しい犠牲を強いることを理解させる。

いかと採り入れました」

国の英語教育実施状況調査によると、2015年度に英検準2級を取得、ないしは同等の能力を持つ者は高校3年生で34・3%にとどまる中で、南高附属中の中3生の英検準2級以上の取得者が86%に達するのは、確かにこうした路線の結実と言えよう。

南高附属中の推進力である英語の授業を実際に見ると、取材時期は5月の連休明けすぐだったが、中1のクラスからはすでに「英語が楽しくて仕方ない」という活気が漲っていた。

古谷佳代教諭はアルファベットの書き順を生徒にまず手でなぞらせる。つまりエア筆記するのだが、その間、あのABCの歌をみなで唱和する。出だしのエキサイティングなアウトプットから、楽しい授業運びのおかげでインプットがしっかり定着したと瞬時にわかるのはさすがだ。

しかし、1ステップごと着実に学習を進めるよう作られている教科書を、年間に5回も繰り返すことがなぜできるのか？ 言語を理解するルールである文法説明などどうするのか？—といった疑問が沸いてくる。

5ラウンド制では「文法の難度」ではなく、「情報の強度」に従い段階を踏ませる。まず聴覚情報（音声）に重点を置き、これに慣れるよう徹底指導するのだ。聴覚は視覚（文字）に比べ、情報の強

度がはるかに低い。中1程度の教科書なら、まず通して1冊分を丸ごと聴き、意味の理解は後回しにして、ネイティブに「なりきり」、記憶に残すとしてもそれほど負担なく、短期間でインプットできる。

言語は繰り返し楽しみながら学べし

それもこれも、文法をあえて教えない小学校段階の国語と一緒に、中学の教科書が文法的にも“段階を踏んで”作られているからこそできる。これはちょうど南高附属中総体のあり方にも近い。同校自体、地域に根づいた準進学校が、大本を変えずに捉え方を変えることで新たに生まれ変わったからだ。

磯部校長も「赤ちゃんは初め言葉を知らない。しかし、1年もすると溢れ出てくる。それと同じです」と5ラウンドの合理性を強調する。

「たくさん聴いて話すのがまず肝心。3単元のSを抜いても、スペルを知らなくても構わない。穴開きの最後の部分なんて真っ白ですよ。私立中もよく見学に来ます。他教科もそうですが、つねにペアの練習はふんだんにさせます。4人という場合も多く、すると縦横斜めに向かい合う同士と3回やり取りをすることになる。リテリングの時は同じテーマで話をしていても、それぞれどこか変



指示薬を作らせる中3理科。実験でよく使うpH（酸性・アルカリ性の程度）値を調べるリトマス紙やBTB溶液以外にも、たくさんの指示薬があるが、生徒らは家庭や学校周辺から様々な材料を持ち込んで作成していた。紫タマネギのようにアントシアニンが含まれる食物だと、特に反応がはっきりしている。

指示薬作成にも遊び心を。和気あいあいと実験を進める中3理科

わってくるんです」

そこに学びと表現の醍醐味もある。「門前の小僧習わぬ経を読む」というが、知識層の児童は家庭内で飛び交う会話、視聴するテレビ番組などが自然と耳に入り、いわゆる耳学問を身につけ、時として耳年増にもなる。それと同じことなのだ。しかし、およそ学問はそうできている。馴染みと興味が奥義よりも優先する。中学時分はみんな知的好奇心に満ちているが、学ぶ喜びを失わず、一気に高みに上らせるという点で、5ラウンド的な考えは他の教科にも応用できるかもしれない。

この学び合いの風土の醸成が、今話題のアクティブ・ラーニング（AL）がもたらす最大の効果。私立中で先駆的に取り組まれてきたが、ここまで仕組み化してこなかった。市立南では、筑波大学附属駒場中高教諭などを長らく務めた、横浜国大教育人間科学部の高木展郎名誉教授をアドバイザーに迎え、年に3～4回は授業を見てもらい、助言を請うという。そこで教授に言われるのも「先生は喋り過ぎるな」だそう。そこから生徒の自主性も育つのだ。

中3の国語の授業はまさにALの理想を体現していた。板書を見遣ると、タイトルは「キャッチコピーの推敲」とある。なんのためといえば、学校のパンフレットやポスターに実際に起用されるコピーを例年、生徒たちがこうして授業で作成し、優秀作何本かまでは自分たちで選考会をして決めるのだ。

まずは座学でその要領を福田由美教諭から伝えられる。隣り合わせた同士、コピーに込められたメッセージを説明し、悩んでいる点などを相談し合う。15分が経過。今度は周辺4人で机を向き合わせ、さらに合議にかかる。その過程をある生徒のノートから確認すると、自身の

適性検査の傾向と対策

17年度よりそれまでのI・II・IIIの構成からI・IIに絞られる。
 検査I (主に国語作文) : 19年度から市立横浜サイエンスフロンティア中との共通問題となり、「文章・図・表やデータなど与えられた資料を的確に読み解き、課題をとりえて適切に表現する力を見る」とされた。
 検査II (主に算数・理科) : 自然科学や数理的な問題から考察力や的確な表現力を見る。問題数が非常に多く、時間内に全問解くことは難しい構成。



合理的に設計された、閲覧デスクが印象的な図書館。放課後の生徒の利用率も大変高かった。

材料を試していくテンポがそれを表していた。
 南高附属中の生徒は現に、私たちのような外部からの訪問者にも積極的に関わってくる。高校で生徒会活動もしていた、高3の川口里果子さんは自ら率先してインタビューにも応じてくれた。「生徒会は中学では、テニス部で仲のよい子の応援演説を頼まれました。ウチの学校は行事が盛んで、その委員になったりするのは好きでした。文化祭の舞台委員なんかをして、高2で生徒会の書記になりました。」

みんなには丸くなったと言われますね。仲よしの子としか一緒にいなかったのに、少しは相手の立場に立てるようになったのかな(笑)。小学校の時から家族でシンガポールや香港など、けっこう海外には行っていたので、カナダ研修も楽しみでした。英語も頑張ったかな(笑)。今は日本語教師になりたいくて、志望の大学も絞り込んでいます」

澁刺とした川口さんに接していると、この学校の求める生徒像も見えてくる。実は彼女も私立中を受験するつもりで塾に通っていたが、途中で同校の存在を知り、第1志望に変えた。併願のMARCHクラスの大学附属校にも合格したが、迷わずこちらを選んだという。

南高附属中は成績の向上だけでなく、生活面での生徒の満足度も高いとよく言われる。2年前に文部科学省が実施した「学校教育に関する意識調査」の“学校生活満足度”によると、南高附属中の学校生活全般に満足している生徒は92.0%(神奈川県で平均70.2%)もいた。これも地域に根ざした公立校が見事な変身を遂げた結果なのだ。

充実の図書館と生徒の活用ぶりにも、学校の居心地のよさが窺える

徒もいた。そんな現代の中学生には江戸時代と変わらない第2次大戦前後が、日用品などの不在という事実から想い浮かんでくるのだ。

「社会科の授業は知識が豊富な生徒が活躍しがちですが、自由に発想し、それを発言する場面を設けることで、知識のない生徒も授業の主役になれるように心がけています」

というのが松藤教諭の狙い。確かに自分たちの日常にリンクさせるしか、過去を当事者的に理解することはできない。

「普段は生徒が考えを記述したり、ディベートやプレゼンテーションを行ったりするなど、生徒の活動が多い授業を心がけていますが、この時間は授業内容の性質や前後の時間との兼ね合い等から、まだしも教師による講義中心でした。生徒が発言した品目などが実際に総動員対象として法律にも書かれており、知識がある生徒も「そんなものまで!」という驚きを感じられやすかったと思います」

失敗を恐れずに実験を繰り返す理科

また、グループ単位で実験をするのが普通の理科の授業でも、個別のテーマ設定を上手く絡めていた。指示薬を自ら作ろうという中3の実験では、みんなでいろいろな材料を持ち寄っていた。紫キャベツや赤カブなど色素の強い野菜や果実がよく用いられるが、校庭で摘んだ花や草の葉などを持ち込む生徒もいた。同じティーバックでも緑茶や紅茶、烏龍茶ではpHバランスが違う。概ね中性から弱酸性だが、指示薬はその微妙な差異を示してくる。目にも鮮やかな授業だった。ここにも「失敗を恐れずに」という精神は横溢。次から次へと



どの学年も6月初旬開催の体育祭に向け、練習に熱が入っていた時期に訪問。中1の学年種目はクラス全員40人の大縄跳びで、みんな真剣に息を合わせる。連続何回跳べたかで勝敗が決まるが、その日の最高は14回。当日は果たして…?

めく。そして、ラジオの放送内容自体が統制対象になる一と鋭く指摘してくる子もいる。業務への統制もあって、タクシーなどは贅沢と見なされ、運転手も徴用にとられただろう。その辺りを突いてきた生

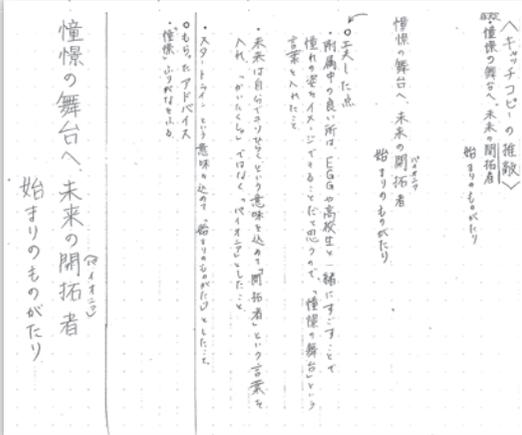
有名大学合格者数の推移

▼主要国立大学合格者数の推移	国立大学名	2018年	2017年	2016年
18年の①は高入生、②は既卒生の数(内数)	北海道大学	1	-	-
	東北大学	2	-	-
	筑波大学	1	-	-
	お茶の水女子大学	2	-	-
	電気通信大学	3 (1)	-	-
	東京大学	5	-	-
	東京学芸大学	1	-	-
	東京工業大学	5 (1)	-	-
	一橋大学	1	-	-
	横浜国立大学	18	1	2
	大阪大学	1	-	-
首都大学東京	4	0	2	
横浜市立大学	8 ②	5	8	

▼主要私立大学合格者数の推移	私立大学名	2018年	2017年	2016年
18年の①は高入生、②は既卒生の数(内数)	青山学院大学	17 ② (2)	15	15
	学習院大学	7 ③	5	2
	慶應義塾大学	12	6	4
	国際基督教大学	1	-	-
	上智大学	19	3	6
	中央大学	16 ① (1)	12	17
	津田塾大学	3	-	-
	東京理科大学	34 (1)	5	7
	法政大学	35 ⑤ (10)	29	30
	明治大学	46 (3)	34	16
	立教大学	23 ①	17	18
早稲田大学	25 (2)	14	9	

※ 2018年に中高一貫初の卒業生を出す。

体育祭の縄跳びの息の合った練習にも、「総合知」が垣間見える



中3国語のコピー制作のノート。持ち主のO君によれば、憧憧にルビを振ることにしたが、「しょうけいどうけい」、どちらの読みかは決めていないという。

コピー、「憧憧の舞台へ 未来の開拓者 始まりのものがたり」の憧れの対象は「身近にいる高校生」だという。

このO君、開拓者には「パイオニア」とルビを振った。さらに合議の結果、読みにくい「憧憧」にもルビを振ることにしたという。実際のコピー制作もクライアントの要求を吟味し尽くし、何人か持ち寄りでも作品も提出し、共同で改編を加えることが多い。まるでその現場にいるようだった。

パワフルな社会の授業運びに瞠目

中2の松藤望教諭の社会も相当クリエイティブな授業だった。プロジェクターに投影された内容、「日中戦争 緊迫する日米関係」から飛躍し、現代から戦争に突入する1930年代へと生徒の思考を促す、その持っていく方が秀逸だ。

日中戦争が長期化する中、日本政府は戦時体制を強めていき、人々の生活にも様々な統制が加えられた。国家総動員法により、当たり前にあった物資があればなくなっていく現実を生徒につかませるため、まずはどんなものが統制されたかを、生徒に自由に発想させた上で引き出す。

例えば情報機器でいえば、テレビはなく当然ラジオの時代。家電製品を見ても同様だ。冷蔵庫も洗濯機もアイロンも家庭用はおよそ電化しておらず、掃除機もまだない。そんな話をすると、生徒はどよ